

第13回

“雫”秋の朗読会



～晩秋の午後のひととき、朗読を三題～

朗読 朝井 多み江

死神どんぶら 斎藤 隆介 作

大酒飲みの三郎治は、カカアに愛想をつかされ娘と共に家出された。やけ酒を飲んでいた雨の夜、死神が三郎治を迎えに来た…！

お 菊 三浦 哲郎 作

衣擦れの音もさせず、するりと乗り込んで来たのは色白の妙齡の女だった。「菊の花が好きだと言った女の目が、バックミラーの中で一瞬宝石のような光を放った気がしたんです」タクシーの運転手が語る不思議な出来事とは…

人でなしの恋 江戸川 乱歩 作

「変だな、と気づいたのは、ご婚礼からちょうど半年程たった時分でございました…」信じ切っていた夫の愛に疑いを抱いた若妻は…。乱歩自身もお気に入りの作品。

日時 2024年10月26日(土) 午後1時30分開演(1時開場)

場所 一茶双樹記念館 電話 04-7150-5750

お代 500円 (要予約)

〈ご予約、お問い合わせ〉

朝井 090-8307-1659

〈一茶双樹記念館〉

流山市加^{流山}6-670-1

- ・流山電鉄、平和台駅より8分
- ・JR南流山駅、東武線江戸川台駅より京成バスで「流山5丁目」または「流山8丁目」下車徒歩5分

